

令和4年度 第4回 経営協議会 議事要録

1 日 時 令和5年1月20日（金）14時15分から15時13分

2 場 所 日亜会館 会議室

3 出席者

（学外委員） 飯泉委員、植田委員、梅田委員、大西委員、北畑委員、結城委員、
米田委員

（学内委員） 河村学長、長宗理事、佐々木理事、吉田理事、溝口理事、香美理事

（陪 席） 矢部監事、立木監事

4 協議事項

(1) 令和4年度基本ポートフォリオ変更（案）について

溝口理事から、協議事項1資料により、令和4年度基本ポートフォリオ変更（案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(2) 令和4年度第3四半期資金運用実績について

溝口理事から、協議事項2資料により、令和4年度第3四半期資金運用実績について説明があり、これを了承した。

(3) 令和5年度運営費交付金等予算額（案）の概要について

溝口理事から、協議事項3資料により、令和5年度運営費交付金等予算額（案）の概要について説明があり、審議の結果、これを了承した。

5 意見交換

(1) 令和4年度国立大学改革・研究基盤強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）の採択について

河村学長から、意見交換1資料により、令和4年度国立大学改革・研究基盤強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）の採択について報告があり、その後意見交換を行った。

なお、委員から、「医光共創モデル」は、今後、徳島大学のブランドとなり、強みになると思うが、その社会的な効果、また、どのような社会的インパクトが生じるのかということについて、もっと分かり易く具体的にアピールしてはどうかとの意見があった。

6 近況報告

学長から、大学の近況報告があった。

7 その他

全体を通して各委員から以下の意見があった。

- ・徳島大学は、様々な取組、多くのプロジェクトを行っているが、その内容は国策となるものであり最先端の研究を行っている。引き続き、学長のリーダーシップのもと、関係機関等とも連携し、知の拠点となるべく担っていただきたい。

- ・現在の社会は変化のスピードが早くそれに対応していくことが求められるが、徳島大学も、是非、時代の変化に併せて大学改革、組織改革、教育改革等、スピード感を持って対応して欲しい。

- ・大学の強みやアピールできることをもっと分かり易く情報発信し、優秀な学生の確保に努めて欲しい。

- ・今日の資料の数値から、外部資金獲得額が同規模大学の平均と比較して倍近い額ということがわかった。このことから徳島大学の経営改革は進んでいることが示されたが、今後もこのような評価事項について数値化、見える化を行って欲しい。

- ・医師の働き方改革を進めるにあたって、労働時間が制約される中で同程度の医療資源を提供するには、5Gを活用した遠隔医療の新技术が重要となることから徳島大学には是非その研究を進めて欲しい。また、徳島大学はAWAサポートセンターを中心に女性の活躍推進が行われているが、女性の上位職登用についてさらに働き掛けを行って欲しい。

- ・「医光」の分野が今後の徳島大学さらには地域の強みとなることが期待される。是非、ブランド化を目指し、今後は成果を出して社会実装を行い、社会的なインパクト・効果に繋げて欲しい。

- ・全体を通して、より分かり易い資料としていただき、ミッションの達成度についても段階的に数値化して欲しい。

次回の経営協議会は、令和5年3月20日（月）15時00分から開催することとなった。

(以上)